

令和7年度 第2回日立地域医療構想調整会議 議事録

1. 日時：令和8年1月20日（火）18：00～19：30（18：50閉会）
2. 場所：茨城県日立保健所（web会議を併用したハイブリッド形式）
3. 出席者：別紙出席者名簿のとおり
4. 進行
 - （1）出席者の紹介
名簿の配布をもって委員の紹介に代えた。また、地域医療構想調整会議設置要綱第7条第2項に規定する出席要件を満たしていることを報告した。
 - （2）会議の公開
地域医療構想調整会議設置要綱第9条により公開とした。
 - （3）会長・副会長の選任
地域医療構想調整会議設置要綱第5条により会長に多賀医師会の横倉会長、副会長に日立市医師会の佐々木会長を選任した。
 - （4）会議録署名人の氏名
議長は、地域医療構想調整会議設置要綱第10条により、会議録署名人に渡辺委員及び加藤委員を指名した。
5. 議事
議長は、事務局に説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換（別紙参照）が行われた。

【情報共有】

- （1）救急搬送における選定療養費について
選定療養費導入から1年経過後の徴収状況と日立管内の救急搬送件数について情報共有した。
- （2）医師派遣要望調査について
日立医療圏の要望について県北医療センター高萩協同病院の要望が見送りとなり、日立総合病院、北茨城市民病院が要望されたことを共有した。
- （3）在宅医療連携体制検討会議について
令和8年1月15日に開催した会議の積極的な役割を担う拠点・医療機関からの事例報告の内容と市・消防本部へのヒアリング結果の紹介、また、意見交換であげられた課題を共有した。

【審議事項】

- (1) 様式Ⅱ 非稼働病棟における今後の運用計画について
- (2) 様式Ⅲ 医療機能の拠点化・集約化に向けた今後の方向性について
- (3) 様式Ⅲ・別紙 日立構想区域の具体的対応方針（案）について

医療機関から報告された内容をまとめた結果と昨年度からの変更点について報告し異議等はなかった。

【データ説明】

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業 医療・介護レセプト等の分析結果（日立医療圏）

筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野渡邊特任准教授より、事業の概要と国民健康保険・後期高齢者制度の医科入院、医科入院レセプト、DPCレセプトを用いた日立医療圏の流出入状況、日立医療圏の患者数の将来推計について分析結果が報告された。

以上をもってすべての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。
上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和8年 2月 26日

日立地域医療構想調整会議会長

横倉 裕明

議事録署名人

渡辺 泰徳

議事録署名人

加藤 貴史

日立地域医療構想調整会議委員名簿

区分	所属機関・役職	氏名	備考
保健医療分野	一般社団法人 茨城県日立市医師会長	佐々木 栄一	
	一般社団法人 茨城県多賀医師会長	横倉 稔明	
	一般社団法人 日立歯科医師会長	立原 正仁	
	一般社団法人 日立薬剤師会長	岩崎 健一	
	高萩薬剤師会長	菊地 勝	
	(株)日立製作所日立総合病院長	渡辺 泰徳	
	県北医療センター高萩協同病院長	渡辺 重行	
	北茨城市民病院長	植草 義史	
	社会医療法人愛宣会 ひたち医療センター理事長 病院長	加藤 貴史	
	医療法人芳医会 瀧病院 理事長 病院長	瀧 慶治	
	医療法人 一誠会 川崎病院	川崎 俊一	代理出席 小林 智史 事務長
	医療法人聖麗会 聖麗メモリアル病院長	佐藤 明善	
	医療法人秀仁会 川島クリニック院長	川島 玲	
	医療法人この実会 嶋崎病院長	嶋崎 直哉	
公益社団法人 茨城県看護協会 日立地区理事	寺田 直子	欠席	
介護・福祉分野	社会福祉法人 日立市社会福祉協議会 常務理事	岡見 安美	
	茨城県介護老人保健施設協会理事 介護老人保健施設田尻ヶ丘ヘルシーケア施設長	池村 康之	
	日立市連合民生委員児童委員協議会長	高畠 修一	
保険者	全国健康保険協会茨城支部企画総務部長	三浦 友美	
住民・行政	日立市長	小川 春樹	代理出席 松本 正生 保健福祉部長
	高萩市長	大部 勝規	代理出席 小森 裕之 健康福祉部長
	北茨城市長	豊田 稔	代理出席 鈴木 克彦 市民福祉部長
学識経験者 保健所	日立市消防本部消防長	小林 篤	代理出席 大森 泰弘 警防課長
	筑波大学医学医療系地域医療教育学教授	前野 哲博	欠席
保健所	茨城県日立保健所長	井澤 智子	

令和7年度 第2回日立地域医療構想調整会議 意見要旨

日時：令和8年1月20日（火）18:00～18:50

開催方法：WEB会議（ハイブリット形式）

【情報共有】

(1) 救急搬送における選定療養費の徴収に関する経過について

(2) 地域医療対策協議会による医師派遣要望調査の経過について

(3) 在宅医療連携検討会議について

(横倉委員)

在宅医療連携に関しては、調整会議の委員は病院管理医師が中心のため今まで深く議論してこなかった。これから病院と在宅の連携をどうするのか、在宅医療自体をどうしていくのかが求められる。今後、検討していく会議体をどうするのか検討課題である。

(佐々木委員)

消防本部のヒアリングのアンケート結果でかかりつけ医療機関に搬送の可否を尋ねると不可となる事例があるという意見は、配置医か後方支援病院のことか教えていただきたい。

(日立保健所)

慢性期の病院の場合、夜間や時間外、休日の救急車はかかりつけ患者であっても受けることは実質難しいため搬送先として2次・3次救急病院に運ばれている現状があるという推測。

(佐々木委員)

今現在、原則は後方支援病院が受けなくてはならないという縛りはなく、基本的に配置医が主導していくという概念でいた。

(横倉委員)

今後、課題になる問題。夜間の救急医療ができる医療機関はかなり限られている。かかりつけ医療機関でなおかつ夜間の受け入れができるかどうかは曖昧なところがあり、既にいつも見ているから緊急の場合は受け入れるという考え方もある。整理がこれから必要になってくる。

【審議事項】

- (1) 様式Ⅱ 非稼働病棟における今後の運用計画について
- (2) 様式Ⅲ 医療機能の拠点化・集約化に向けた今後の方向性について
- (3) 様式Ⅲ・別紙 日立構想区域の具体的対応方針（案）について

【データ分析】

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業 医療・介護レセプト等の分析結果
（日立医療圏）

以上